

シリーズ きづくりの
ハイカラ建築

其ノ壱 1913年建築 「旧木造警察署」



大正4年(1915)刊行「木造町沿革史」より

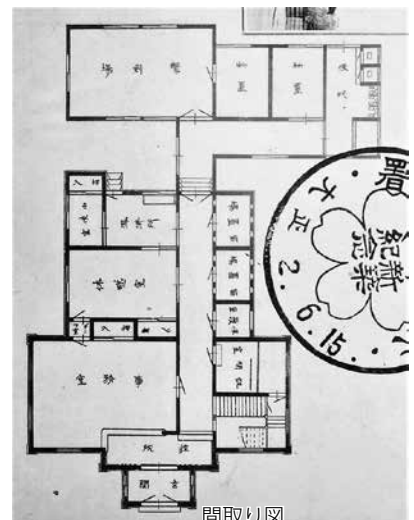
つがる警察署の前身である旧木造警察署は、当時県内に5カ所しかない警察署の1つとして、明治10年(1877)2月に設置されました。同年11月、寄付金により洋風の初代庁舎が建設されましたが、明治45年(1912)4月11日、千代町・曙の一帯の計67棟を襲った木造町大火によって焼失してしまいます。

大火後、しばらくは町役場を間借りしていましたが、再び管内から多額の寄付金が集まりました。これにより敷地を拡張して庁舎が再建され、大正2年(1913)6月に左写真の2代目庁舎が完成しました。盛大な落成式には署長や町民のほか、就任直後の田中武雄知事が出席しています。新庁舎は東奥日報の紙上で「美しき構造とハイカラなる建築は誠に木造の圧巻なり」と評され、落成式の様子は4日間にわたる特集で大きく紹介されています。

こうして再建された警察署は、道行く人の目を引く建物として親しまれました。昭和19年(1944)の5月には、小説『津軽』執筆のために太宰治が木造駅へ降り立ちました。太宰はこのとき町を歩いたエピソードとして「春の温気にあてられ、なんだか頭がぼんやりして来て、木造(きづくり)警察署の看板を、木造(もくぞう)警察署と読んで、なるほど木造の建築物、と首肯き、はつと気附いて苦笑したりなどした」と小説内で記しています。

2代目庁舎は長年の風雪に耐えつつ昭和46年(1971)まで使用されたのち、鉄筋コンクリートの庁舎へと建て替えられました。その建物も昨年3月、現在地に完成した4代目庁舎への移転に伴って役割を終えました。

警察署の建物は歴史の中で移り変わりながらも、絶えず市民の安全を見守り続けています。(執筆者：社会教育文化課 小林和樹学芸員)



間取り図
市文化財審議会委員 野呂謙太郎氏提供

こんにちは！
つがるちゃんです

プランターメロンを展示しました

7月9日にダイソーイオンモールつがる柏店の入り口付近にプランターメロンを設置しました。

「メロンの成長過程を見ることで、メロンの育つ様子を楽しんでください。そして、ぜひつがる市の美味しいメロンを食べて欲しいです」とプランターメロンを育ててくれた3人の生産者からのコメントです。

展示しているのはメロン(タカミ)10鉢、スイカ(羅王)1鉢。8月16日(日)まで展示していますので、みなさんプランターメロンの育つ様子を観察してみてください。つがる市産メロンは市内の農協直売所、農産物直売所、量販店で販売中ですので、ぜひ食べてみてくださいね！

ゆるキャラ®グランプリの投票も受け付け中ですので、つがるちゃんの応援よろしくお祈いします！投票はスマートフォン、または、インターネットから毎日1人1票投票できます。皆さん、応援よろしくね！



ダイソー入口近くに展示しました

投票期間 9月25日(金)まで

投票方法 「ゆるキャラ®グランプリ2020」のホームページまたは右QRコードからアクセス。

「投票方法はこちら」⇒「ID登録をする」からIDを登録して投票に進んでね！

※ID登録なしでカンタン投票は有料になりますので、ご注意ください。



つがる市立図書館

TSUGARU CITY LIBRARY

新しく入った本の紹介

□204冊の中から4冊をピックアップ。 ※本の表紙の写真は、各出版社の使用規程に基づいて掲載しています。



タイトル：農家はつらいよ
零細メロン農家・年商1億までの奮闘記
著者：寺坂 祐一
出版社：同文館出版

スタッフより：借金を返済し、売上19倍・年商1億円を突破！と思ったら除草剤をまかれてメロン6,600玉が全滅、さらに周囲からの過干渉でうつに…。家業を継いでどん底をみた著者、会社、家族の回復の物語。



タイトル：じごくにアイス
作：ナカオ マサトシ **絵：**澤野 秋文
出版社：ひさかたチャイルド

スタッフより：アイス屋のこたろうがバナナの皮ですべってあの世へ！ところが地獄は大火事で大変な騒ぎに…。なんとか鎮火しましたが、地獄の鬼たちはもうへとへと。そこでこたろうはアイスを作ることにします。はたして鬼たちの反応は…？



タイトル：サラリーマン川柳とびきり傑作選
編著：やく みつる / やすみ りえ / 第一生命
編・出版社：NHK出版

スタッフより：1987年の募集スタートから30年以上。令和最初のサラリーマン川柳傑作選！2019年第33回大会の応募約5万3千句の中から選ばれた優秀作のほか、部門別傑作品、歴代ベストテンなども収載。



タイトル：7年目のランドセル
写真・文：内堀 タケシ
出版社：国土社

スタッフより：日本で6年間の役目を終えたランドセルは、海を渡ってアフガニスタンの子どもたちへ！「ランドセルは海を越えて」の活動を通して、戦闘やテロが続くアフガニスタンの状況や、子どもたちの生き生きとした表情を伝える写真絵本。

【お知らせ】図書除菌機を増設しました

当館では、新型コロナウイルス感染拡大予防の一環として、最大6冊を同時に消毒できる図書除菌機2台を7月に導入しました。

図書除菌機は、本を開いた状態で紫外線を照射することで内部まで除菌するとともに、消臭抗菌剤を循環させることで不快な臭いを除去。送風により、ページ間に挟まったほこりや髪の毛などを取り除くことができます。

返却された図書の除菌に利用するほか、皆さんが自主的に使うこともできますので、ぜひご利用ください。

皆さまのご来館をお待ちしております。



講座 場所：セミナー・学習室

郷土学習講座 (主催：NPO法人つがる野文庫の会)

日時 9月13日(日) 10:30~11:30

テーマ：私の農業学

令和元年度「田中稔賞」を受賞して！

講師：山内 勝氏 (農業)

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、講座にご参加いただく方には下記をお願いしています。

- セミナー・学習室入口にて検温をいたします。発熱やせきなど風邪の症状がある方は参加をお控えください。
- 手指のアルコール消毒、マスクの着用にご協力ください。
- 席の間隔をあけてご利用ください。

□ 育てよう読書の木 □ -メッセージ募集-

木の成長は皆さんの読書量の証です。たくさん本を読んでメッセージカードを書き、大きな木を育ててみませんか？

①メッセージカードに、読んだ本の感想を書こう！ ②応募BOXに投函しよう ③読書の木を見に行こう

皆さんが書いたメッセージが「読書の木」となり、図書館を彩ります！

※メッセージカード等は図書館で準備しています。

メッセージ募集期間：令和2年6月1日(月)～8月30日(日)

読書の木展示期間：令和2年7月1日(水)～9月30日(水)

場所：つがる市立図書館カウンター

場所：つがる市立図書館学習室前壁



〒038-3107 青森県つがる市柏稲盛幾世41番地 (イオンモールつがる柏内) ●電話：25-3131
開館時間：10:00～20:00 ●8月の休館日：8月31日(月)